

『教育委員視察！ 文化財の保存と活用』

教育委員の皆さんと教育視察に行ってきました。今年度のテーマは「文化財の保存と活用」。奈良県橿原市にある橿原考古学研究所附属博物館を訪ね、学芸課長さんから展示物、展示の仕方、文化財保護と活用について詳しく説明を伺いました。さすが、日本一の考古学研究所だけあって、土偶や石棒、埴輪や銅鏡、瓦や木簡など驚くべき数と大きさの展示がなされていました。特に古墳のまわりに置かれた円筒埴輪の大きさや、古墳の棺の中の副葬品の素晴らしさに驚かされました。邪馬台国が大和（奈良県）にあれば、纏向遺跡や箸墓古墳が卑弥呼の女王墓と考えられます。その近くの飛鳥池苑地遺跡から、津嶋の地名の木簡が見つかりました。戊寅の年（678）に尾張国の津嶋という50戸あまりの村から赤米が献上されたという記録が見つかったのです。木簡の復元を見て、私たちは1400年あまり前に津嶋から飛鳥に届けられたという記録に感激しました。

この後で私たちは橿原市の大和八木駅の近くにある今井町を訪ねました。今井は戦国時代以降の面影を残す、お寺（称念寺）を中心に発達した寺内町です。石山合戦では、織田信長と全面的に戦いました。その名残りもあり、大きな濠に囲まれた町となっています。重要建造物群保存地区に選定されており、街並保存が進んでいました。称念寺で活動していたガイドボランティアさんからお話を伺うことができました。行き帰りシェル型シートで話題を集めている「火の鳥」に乗車することができました。

総合教育会議では市長さんと一緒に令和7年度の教育予算とスポーツ推進計画について協議しました。アスリート養成だけでなく、生涯スポーツの観点から市のスポーツ計画を進めてほしいという要望が出ました。

23日、少し時間が空いたので津島の街巡り（津島でら寺巡り）に参加しました。六つのお寺の仏像を見てまわりました。薬師如来・阿弥陀如来・聖観音・不動明王。神様仏像を祀る神仏習合のお寺を訪ねました。琉歌のコンサートを聞きながら、サーターアンダーギーとキンパを食べました。皆さんもぜひ時間をつくり、津島の街中めぐりにチャレンジしてください。

プロジェクト開始のメール七日粥

令和7年3月2日
津島市教育委員会
教育長 浅井厚視